

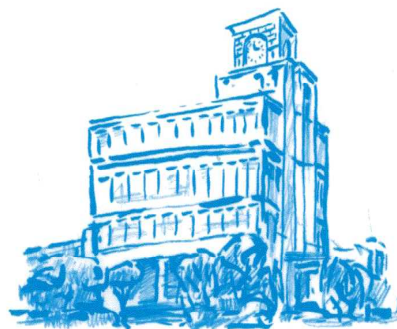
子どもの未来を創る教育の情報化

伊丹市立総合教育センター
所長 永嶺 香織

文部科学省は、令和5年度を目途に全ての小中学校に1人1台端末を段階的に配置する計画を示してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症への対応としてまとめた緊急経済対策では、「GIGAスクール構想」の前倒しを打ち出し、1人1台端末や在宅オンライン学習に必要な通信環境の整備等を加速する考えを示しました。

この国の動きに基づき、1人1台の端末整備までに学校は何をしなくてはならないのかを考えておかなければなりません。東北大学大学院 堀田 龍也教授は、1人1台端末が整備されれば、日常的に子どもたちに使わせて情報活用能力を育てる必要があること、そして、先生の「ICT活用指導力」と子どもの「情報活用能力」を同時に高めていくことが教育の情報化のためにまずすべきことであると述べられています。



情報活用能力はこれからの時代を生きる子どもたちに必ず必要となる力であり、「学習の基盤となる資質・能力」として学習指導要領にも位置づけられています。端末整備が進めば、学習活動のなかでPCやインターネットを使う機会が大幅に増えるので基本的な操作スキルの習得が必要です。また、さまざまな情報を整理・分析して総合的に判断し、自分の意見を形成していくような情報を扱う能力も必要になってきます。このような力が身につけなければ、いざ学習活動に活用しようとしても活用にはばかり時間がかかり、本来めざすべき授業のねらいや目標に到達することができなくなってしまいます。

そこで、日常的にICTを用いるモデルとして参考にさせていただきたいのが2019年12月に文部科学省が公表した『教育の情報化に関する手引き』です。教科等の指導を考える際に大いに参考になります。例えば、手引きの第4章で示されている「学習場面に応じたICT活用の分類例」では、「一斉指導による学び（一斉学習）」、「子どもたち一人一人の能力や特性に応じた学び（個別学習）」、「子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学び（協働学習）」をさらに細分化して学習活動ごとに活用例が示されています。このような資料を参考にすることで、これまでに蓄積してきた教育実践とICTとを組み合わせた指導についての研究を進めていくことができます。

今後、全国の学校現場でICT環境が整った際には、全ての学校がICTを活用した教育を実践していることが前提となります。また、緊急事態発生時には、今回の緊急事態対応以上にICTを活用した学習支援も求められることも予想されます。このような教育を取り巻くICT環境の現状を捉え、各学校での準備を組織的に進めていただきたいと思います。総合教育センターでは、全ての先生方が効果的に活用できるよう支援していききたいと思います。

加速する!!

伊丹市のICT環境整備 活用計画

～GIGAスクール構想の加速による学びの保障!!～

「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急を実現

令和2年度中 伊丹市 令和2年度(2020年度)6月補正予算(案)

ICT活用のステップアップ 1人1台時代に求められる教員ICT活用力

学校ネットワーク環境の全校整備

各教室にアクセスポイントを設置し、**教室をWiFi化します**。このことにより、各教室でのタブレット端末の使用が可能になります。
また、教室に**タブレット端末の保管庫**を設置し、児童生徒1人1台の端末充電と保管ができるようになります。

1人1台端末の早期実現

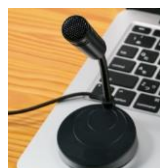
学習者用コンピュータとしてタブレット端末(iPad)を1人1台整備予定です。
授業支援システムとして「schoolTakt」を導入し、個別学習・協働学習を支援します。

学校からの遠隔学習機能の強化

臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、学校側が使用するカメラやマイクなどの通信装置等の整備予定です。
小学校は各学年1セット、中・高等学校には2セットの整備予定です。



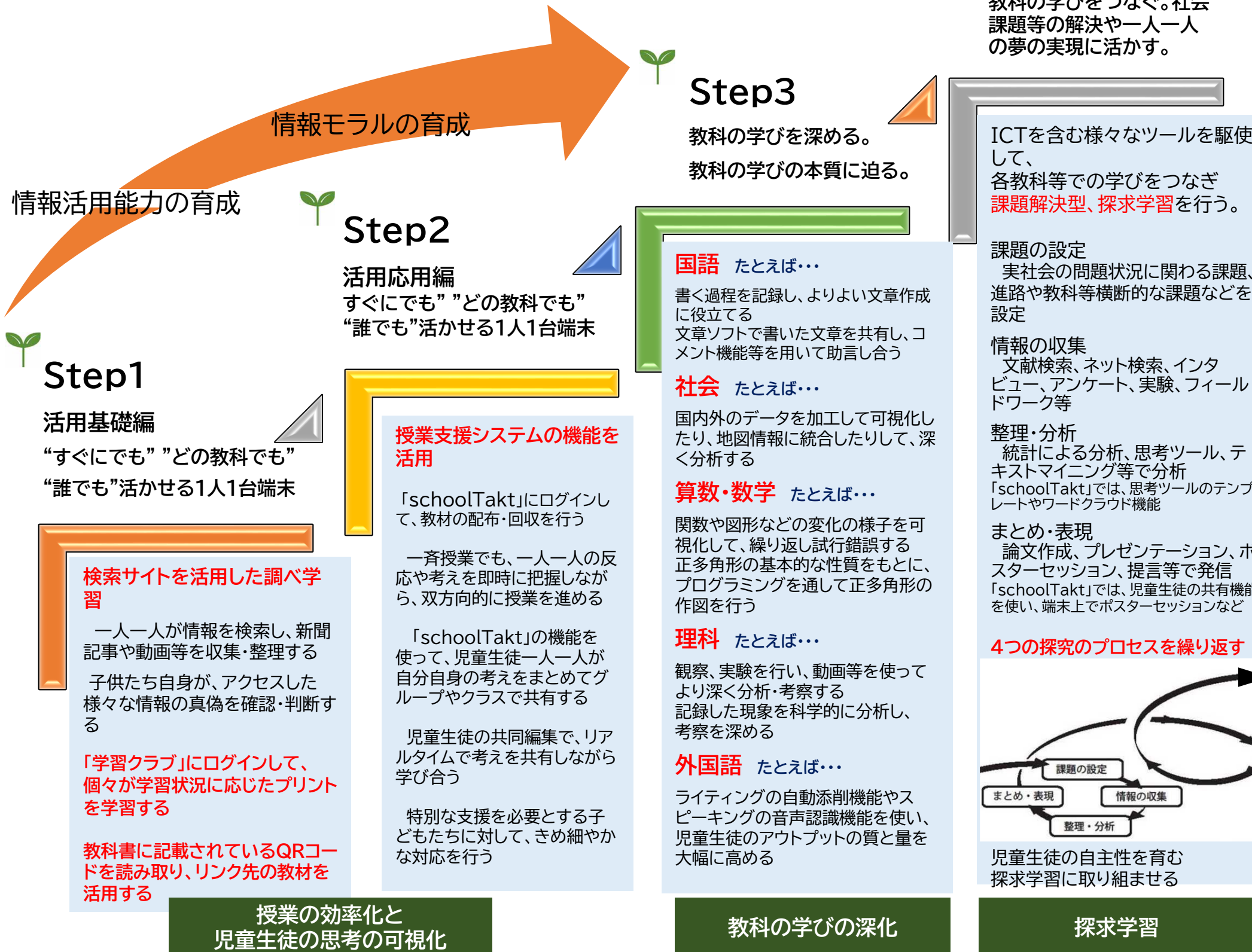
webカメラ
参考画像



マイク
参考画像

緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備

WiFi環境がない家庭で使えるように貸与用のLTE通信環境(モバイルルータ)整備予定です。「schoolTakt」を活用すると、学校だけでなく、家庭においても端末を使って学習・アセスメントが可能になります。コメント欄を使用して教員と児童生徒の個別のやり取りが可能で、時間を決めて実施すればリアルタイムの双方向のやり取りが可能となります。



コロナ禍の中、

子どもと繋がるために がんばる学校

子どもと繋がるために、学びを止めないために、各学校では、学習課題などを各家庭にポスティングなどで配布しています。プリントだけでなく、一斉メール利用や学校ホームページへの学習動画の掲載、実証実験校における授業支援システム、ビデオ会議システムの利用など工夫を凝らした取組を行っています。それでは、各学校での取組の一部を紹介します。



授業支援システム「schoolTakt」を活用して、児童生徒に健康観察様式を配布、回収することで、児童生徒の現況を掴んでいます。

コメント欄を使用して、児童生徒とやり取りをすることで、繋がりを実感できます。

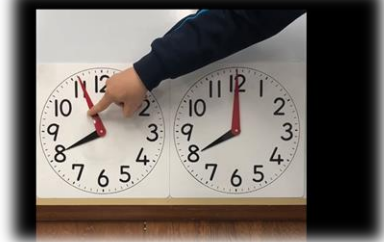
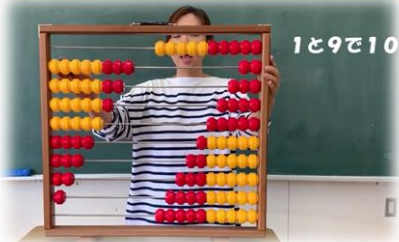
学習課題などの取組状況がリアルタイムで分かるので、きめ細やかなアドバイスが送れます。

実施校：西中学校・南中学校・天王寺川中学校・荒牧中学校

ビデオ会議システムを活用して、リアルタイムの映像と音声をやり取りしながら、オンライン学習の実証実験を実施しました。また、第2波に備え先生間での実証実験を行っています。

実証実験校：笹原中学校

実施校：伊丹特別支援学校、伊丹高等学校



学校ホームページに動画共有サイト(YouTube)へのリンクを貼り付けて、学習動画の配信を行っています。各学校の特色や先生方の思いが詰まった動画です。

実施校：稲野小学校、南小学校、神津小学校、天神川小学校、瑞穂小学校、花里小学校、昆陽里小学校、鈴原小学校、荻野小学校、池尻小学校、鴻池小学校、荒牧中学校、伊丹高等学校

発行所在地 伊丹市立総合教育センター
〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
TEL 072-780-2480
FAX 072-780-2482
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始
総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>

<教育相談>
電話 072-772-6171 (電話相談)
072-780-2484 (来所相談)
お子様に関する様々な悩みや課題、
問題等の相談に応じています。
(来所・電話相談)
月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会
ひょうごっ子SNS悩み相談
LINEを使って利用できます

